



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名: キュウシュウクロナガオサムシ 広島県東部亜種
学名: *Carabus kyushuensis cerberus*

オサムシの仲間は、多くの種で後翅が退化しており、飛ぶことができません。そのため、川や山を越えて移動することが難しく、地域ごとに多くの種や亜種へ分かれています。

キュウシュウクロナガオサムシは、兵庫県西端から九州まで広く分布します。その中で地域ごとに以下の亜種が知られています。

- ・九州：原名亜種
- ・山口県～広島県西端：山口県亜種
- ・広島県東部～岡山県西部：広島県東部亜種（以下、東部亜種）
- ・東部亜種を取り囲む地域：中国地方亜種（以下、中国亜種 上下町矢野が基準産地！）

これらの亜種の違いは、主に雄の交尾器（矢印部分）先端の形で区別できます。山口県亜種では先端が長く伸び、東部亜種では短くなっています。

東部亜種と中国亜種の境界は、江の川と太田川付近にあると考えられています。三次市では、江の川を挟んで西側に中国亜種、東側に東部亜種が分布しています。一方、安芸高田市～広島市安佐北区にかけては、まだ詳しい調査が行われておらず、境界ははっきりしていません。

また、中国山地には別のクロナガオサムシ類が生息しており、互いにすみ分けているようです。



【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

